

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員間のコミュニケーションの機会を増やし、職員同士が率直な意見交換ができるように工夫して行く。正解や事実のフォーカスするのではなく、感情に向き合う配慮をして行く事。	今後、職員間の此処の役割について具体性を持たせていく。職員同士が向き合い、それぞれの思いを理解し、共感し合える関係性を強化して行く。	リーダ以下のスタッフで、小人数ずつ集まり、「題名の無い会議」を行ない自分の介護に対する思いを、発表するカンファレンスを開いて行く。その後、それぞれの思いを取りまとめ、全体で把握して行く。	12ヶ月
2		認知症の中でも、最重度の方からの入居を積極的に行なっていく為の、理解、着目点の相違を無くして行く。	問題意識にとらわれない、職員の感性を大切に、最重度を見て行く、信念とプライドを高く持ち続けられるようにする。	スタッフは、スマイル小見川に入社したら、全員が認知症ケアの専門職であると、意識できるよう、此処のレベルに合わせ、スキルアップ研修をする。	12ヶ月
3		利用者と、その家族が満足されることが、自分達が毎日行なっている仕事の結果で、評価であると受止められるようにして行く。	利用者が毎日1人、1年に1回は、全職が必ず、幸せと感じていただける支援をする。	具体的に、実践で日々の取り組みを、ケアプランに採り入れて行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月